

箱根山の火山活動解説資料（平成21年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2）

環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大涌谷の噴気に特段の異常は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図3）

2日と8日に、駒ヶ岳付近の浅部を震源とする地震がまとまって発生しました。最大の地震は2日 08時 08分に発生したマグニチュード¹⁾2.3(暫定値)の地震で、箱根町湯本で震度1を観測しました。箱根山では、これまでも時々地震の多発があり、最近では2008年9月に発生している。

なお、今回の地震活動に関連して、火山性微動の発生など火山活動に特段の変化はありませんでした。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を表します。資料中のMは暫定値で後日変更することがあります。

・地殻変動の状況

湯河原に設置している体積歪計^{ひずみ計}2)や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計等³⁾による地殻変動観測では、火山活動によるとみられる変化は認められませんでした。

- 2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。
- 3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがある。

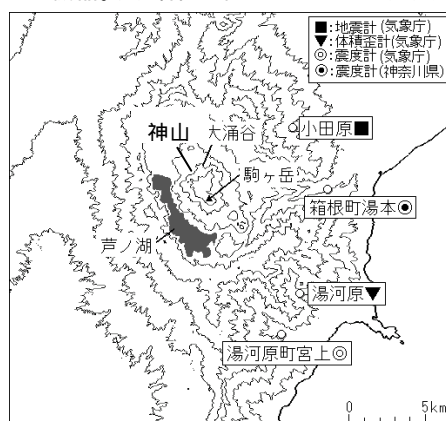


図1 箱根山 観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

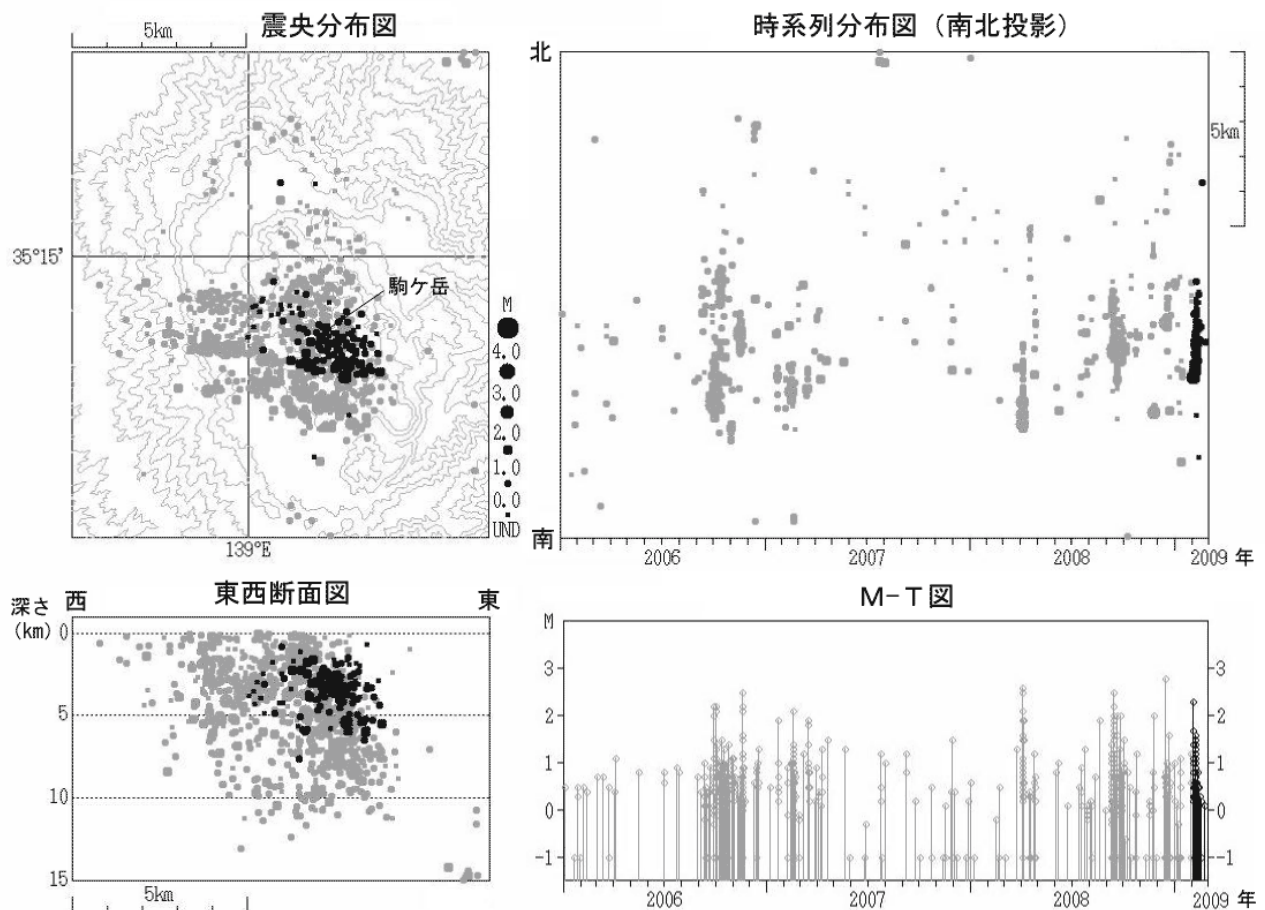
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成21年3月分)は平成21年4月7日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、環境省インターネット自然研究所、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。



図 2 大涌谷の状況（2 月 21 日、環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラによる）



○ : 2006 年 1 月 1 日～2009 年 1 月 31 日 ● : 2009 年 2 月 1 日～2 月 28 日

に発生した地震を示しています。

図 3 箱根山 震源分布図（2006 年 1 月 1 日～2009 年 2 月 28 日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。資料中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。